

令和元年11月18日

山形県山岳遭難対策協議会会員 殿

山形県山岳遭難対策協議会
会長 若松正俊

令和元年度山形県山岳遭難救助訓練の実施について
みだし訓練を山形県警察山岳救助隊と合同で実施することとしたので、適任者を選考の上、参加くださるよう御案内いたします。

記

- 1 訓練目的
山岳遭難救助活動に必要な知識・技能及び装備資器材の活用要領等について習得するため
- 2 訓練日時
令和2年2月18日(火)から2月19日(水)までの2日間
- 3 訓練場所
山形県上山市蔵王坊平高原一帯
- 4 訓練日程
別紙1の1「山岳遭難救助訓練日程」のとおり
- 5 服装・携行品等
別紙1の2「個人装備品等一覧表」、別紙2の1「団体装備品一覧表」のとおり
- 6 参加者
山形県山岳遭難対策協議会加盟団体(山形県、山形県警察、県内各市町村、県山岳連盟、県スキー連盟、陸上自衛隊第6師団、山形森林管理署、山形地方气象台、東北電力(株)送配電カンパニー山形支社、蔵王観光開発(株))の救助隊員及び関係者
- 7 訓練講師
 - (1) 日本体育協会公認上級指導員 2名
 - (2) 山形県警察山岳救助隊副隊長
- 8 宿泊場所
〒999-3113 上山市蔵王坊平高原 蔵王ライザウッディロッジ TEL023-679-2311
- 9 その他
 - (1) 参加経費
別紙2の2「参加者の経費」のとおり
 - (2) 参加申し込み
別紙3の参加申込書に必要事項を記載の上、令和2年1月15日(水)正午までFAXかメールで下記担当者宛てに送付してください。
 - (3) 集合日時・場所
令和2年2月18日(火)午前10時から開始式を行いますので、15分前まで、蔵王ライザウッディロッジ2階多目的ホールに集合してください。(午前9時30分から受付開始)
 - (4) 訓練における安全を確保するため、参加人数に制限がありますので、ご了承ください。参加申し込み締め切り後、参加人数を調整させていただくことがあります。
 - (5) 山岳保険は、必要がある場合、参加者各自で加入してください。

連絡担当 〒990-8577 山形市松波二丁目8番1号
山形県山岳遭難対策協議会事務局
(警察本部地域課内) 伊藤
TEL : 023-626-0110 (内線 3573)
FAX : 023-630-2939
MAIL: pitomas@pref.yamagata.jp

別紙 1

1 山岳遭難救助訓練日程

訓練日	内 容	備 考
第 1 日 2月18日(火)	9:30 受付開始 10:00 開始式 10:20 班編制、座学又は実技訓練 昼食 午後 実技訓練	宿舎 蔵王ライザ・ ウッディロッジ
第 2 日 2月19日(水)	午前 実技訓練 昼食 13:20 検討会・終了式 14:00 解散	

2 個人装備品等一覧表

No.	品 名	数量	No.	品 名	数量
1	冬山用シェルレイヤー	1	26	救急用品	適宜
2	冬山用手袋	1	27	アイスアックス (ピッケル)	1
3	登山靴	1	28	クランボン (アイゼン)	1
4	ロングスパッツ	1	29	輪かんじき	1
5	ニット帽 (ヘルが被れるもの)	1	30	雪崩ビーコン	1
6	山岳ヘルメット※前面に養生テープ貼付し、所属、氏名を記入すること。	1	31	プローブ (ゾンデ棒)	1
7	ヘッドランプ	1	32	シヨベル (スノースコップ)	1
8	ゴーグル・サングラス	1	33	スノーソー (ノコギリ)	1
9	バックパック (ザック)	1	34	ハーネス	1
10	バックカバー	1	35	ランヤード (PAS)	1
11	フリース・ダウンジャケット	1	36	ダイニーマスリング (ループ状のもの) 60cm、120cm、180cm	2本ずつ
12	インナー (吸湿速乾性のもの)	1	37	プルジックロープ (7mm×150cmをダブルフィッシャーマンズノットでループ)	2
13	着替え (速乾性、保温性のもの)	適宜	38	下降器 (エイトカン等)	1
14	腕時計	1	39	確保器具 (ATCガイド等)	1
15	笛 (ホイッスル)	1	40	ロープ登高器 (アッセンダー等)	1セット
16	ナイフ・ナタ	1	41	プーリー	2
17	予備電池	適宜	42	ロックンギカラビナ	5枚以上
18	ライター・マッチ等	適宜	43	スタンダードカラビナ	5枚以上
19	行動食、非常食	適宜	44	メモ帳	適宜
20	修理用品	適宜	45	筆記用具	適宜
21	地形図25,000分の1 (訓練場所)	1	46	洗面用具(タオル等)	適宜
22	コンパス (シルバコンパス)	1	47	常備薬・健康保険証	適宜
23	アルミシート (エマージェンシーシート)	1			
24	保温水筒	1			
25	プラティパス	1			

注1：装備品が無い場合は用意できる範囲で構いませんが、可能な限り揃えてください。
 注2：宿舎にタオルがありませんので忘れず持参してください。シャンプー、ボディシャンプーはあります。

別紙 2

1 団体装備品一覧表

	装 備 品 名	数 量
1	セミスタティックロープ (10mm~11mm×50m) ※なければダイナミックロープのみでも可	1 本以上
2	ダイナミックロープ (10mm~11mm×50m)	1 本
3	10mロープ	3 本以上
4	土 嚢 袋	1 袋以上
5	スノーバー	3 本以上
6	ロックハンマー (ハンマーホルスター付き)	1 本以上
7	背負い搬送用具 (レスキューキャリングラック等)	1 台
8	セルフロックングデバイス (ペダル・アディ、アスロン・ローラー、エデールリット・エディ等)	1 台以上
9	リギングプレート	1 枚以上
10	スケッドストレッチャー	1 台
11	ブルーシート (3.6m×3.6m)	1 枚
12	エアマット	1 枚
13	G P S	1 台以上

注：上記装備品を保有している団体は持参してください。

2 参加者の経費

項 目	金 額	備 考
宿泊代 (税込み)	¥11,000	宿泊料金に食費を含む。 食事 ~ 1日目：昼食、夕食 2日目：朝食、昼食

注：参加者の経費は、受付時に納めてください。